議会だより

第3回定例会

昭和63年度決算認定
農村環境センター事業費も決議

平成元年第三回定例会が九月十八日から二十二日まで開かれました。

この定例会では、昭和六十三年度決算四件、補正予算三件、条例改正一件、及び意見書一件の計九件が審議されました。

議案の内容と審議の結果は、左記のとおりです。

◎昭和六十三年度一般会計決算の認定について

昭和六十三年度の一般会計決算は、歳入総額十二億四、六八五万一千円、歳出総額十二億三、〇八二万七千円、差し引き一、六〇二万四千円の黒字決算となりました。

詳しくは「広報つきがた」八月号「月潟村財政事情」でお知らせしてありますのでご覧ください。

なお、「財政事情」では産業育成資金貸付金や国民年金印紙購買基金など約二、六〇〇万円が差し引かれており、決算額に差異が生じておりますのでご了解ください。

（原案認定・全会一致）

◎昭和六十三年度国民健康保険特別会計決算の認定について

昭和六十三年度国保特別会計決算は、歳入総額二億二、一〇三万八千円、歳出総額一億八、八二一万一千円、差し引き三、二八二万七千円の黒字決算となりました。

歳入は、保険税九、六七一万四千円、国庫支出金七、五九七万九千円、療養給付費交付金一、九六四万九千円、共同事業交付金一一八万六千円、財産収入一〇二万四千円、繰入金三四〇万円、繰越金二、一八一万六千円、諸収入一一四万一千円、県支出金その他で一二万九千円となっています。

歳出は、総務費一、〇四二万八千円、保険給付費一億二、〇一一万九千円、老人保健拠出金五、一〇七万七千円、基金積立金三〇〇万円、諸支出金一九〇万九千円、共同事業拠出金その他で一六七万八千円となっています。

（原案認定・全会一致）

◎昭和六十三年度老人保健特別会計決算の認定について

昭和六十三年度老人保健特別会計決算は、歳入総額一億九、三八三万三千円、歳出総額一億八、七八六万六千円、差し引き五九六万七千円の黒字決算となりました。

歳入は、支払基金交付金一億二、五七八万八千円、国庫支出金三、四七一万三千円、県支出金八六五万七千円、繰入金一、二六一万一千円、繰越金一、〇九一万五千円、諸収入一一四万九千円となっています。

歳出では、医療諸費一億七、六七〇万円、諸支出金一、〇九一万五千円、総務費二五万一千円となっています。

（原案認定・全会一致）

◎昭和六十三年度簡易水道特別会計決算の認定について

昭和六十三年度簡易水道特別会計決算は、歳入総額九、七二二万五千円、歳出総額八、三八五万二千円、差し引き一、三三七万三千円の黒字決算となりました。

歳入では、使用料六、六四七万二千円、負担金二五二万四千円、財産収入五五万円、繰越金一、〇七三万八千円、諸収入一、六九四万一千円となっています。

歳出では、総務費三、一四四万一千円、施設管理費三、三〇一万三千円、公債費一、九三九万八千円となっています。

（原案認定・全会一致）

◎平成元年度一般会計補正予算（第五号）を定めることについて

歳入歳出それぞれ七、二二〇万七千円を追加し、総額を十三億三、九〇〇万二千円とするものです。

補正の主なものは、歳入では、村税一、〇二七万四千円、地方交付税二、六三四万六千円、国・県支出金一、〇八四万九千円、繰越金六〇二万四千円、及び村債二、〇一〇万円等の増、地方譲与税二〇〇万円が減額となりました。

歳出では、西萱場集落センター便所工事及び釣寄新集会場改修工事四二五万円、ふるさと創生事業費一、四七二万四千円、農村環境改善センター工事費三、四二〇万円、水田農業確立対策費五〇九万七千円、県営かんがい排水事業負担金三二一万五千円、道路新設改良費八五四万円、及び公債費二八五万五千円の増が主なものです。

なお、本年度工事に入る農村環境改善センターについては平成三年度完成見込みのため、本年度工事分も含め、総事業費三億一、二五〇万円を継続費として議決しました。

（原案可決・全会一致）

◎平成元年度国民健康保険特別会計補正予算（第三号）を定めることについて

歳入歳出それぞれ二一七万四千円を追加し、総額を二億三、二七四万二千円とするもので、在宅療養者訪問指導用コンピューターを購入するため補正するものです。

（原案可決・全会一致）

◎平成元年度簡易水道特別会計補正予算（第二号）を定めることについて

歳入歳出それぞれ一、〇三七万二千円を追加し、総額を七、七一九万九千円とするもので、前年度繰越金を精算し施設改善基金積立て六〇〇万円、バイパス工事費等四二二万八千円を充てています。

（原案可決・全会一致）

◎水田農業確立後期対策並びに良質米奨励金の現行確保に関する意見書の提出について

提出者　小湊米吉議員
賛成者　曽山清幹議員

（原案可決・全会一致）

ふるさと創生

先ほどの文章で、ふるさと創生事業費一、四七二万四千円については、左記のとおり決まりましたのでお知らせします。

◎ふるさと創生文化費として

子供太鼓結成による、太鼓衣裳五五万四千円、タル十個一三万円、バチ五十組二万一千円、宮太鼓五台四六〇万六千円、二丁掛太鼓四台三〇万二千円、宮太鼓台四台五一万六千円、二丁掛太鼓台四台四万円、タル台十台一一万三千円、旗立二台四万二千円、の計六三二万四千円。

◎ふるさと創生産業費として

角兵衛獅子・越後鎌らの広報ビーアールビデオ製作に二二〇万円、観光案内看板を四か所に設置するために四七六万円、観光物産展示販売コーナー一式五四万円、広報ビーアールビデオ機械一式九〇万円の計八四〇万円、合計一、四七二万四千円と決まりました。

村民みなさんからのアンケートを基礎として、ふるさと創生を考える会で十分に検討された結果です。残りの八、五二七万六千円については、ただ今検討中ですので、決まり次第お知らせします。

観光キャンペーンINつきがた

第2回月潟まつり フォトコンテスト発表

九月二十三日(秋分の日)小学校体育館で、観光キャンペーンが行われ、新潟からの団体を始め、村内外から集まった三百五十人ほどの観客で大盛況のキャンペーンとなりました。

このキャンペーンは、村の観光・物産を広く紹介し、地域の活性化を図る目的で毎年行われているものです。

会場には、物産品の展示即売、手づくり銘菓類、月潟手打ち鎌、味セーキ、角兵衛獅子人形の販売をはじめ、ステージでは、月潟太鼓に角兵衛獅子が、キャンペーンを一層盛り上げてくれ、一日があっという間に終わりました。

推薦　竹野　一郎（弥彦村）

特選　阿部　幸子（月潟村）
　　早川　一夫（西川町）

入選　伊藤　佐敏（加茂市）
　　薄田　鉄弥（新潟市）
　　小武　良男（新潟市）
　　渡辺　綱雄（新発田市）
　　小武　良男（新潟市）
　　竹野　一郎（弥彦村）
　　坪内　章吉（長岡市）
　　早川　一夫（西川町）

佳作

（敬称略）

◎作品は、十月二十九日「産業祭」に展示します。

◀竹野さんの作品